

聖書箇所：ヨハネ4：16～26

タイトル：真の礼拝者たち

テーマ：かつては神を知らず、自分勝手な道を歩んでいた私たち。まして、神を礼拝することなど考えたこともなかった私たちが、今、こうして主の御前に礼拝を捧げているが、礼拝（神を礼拝する）とは一体、何を意味しているのか、礼拝のあり方、礼拝の目的、神が求めておられる礼拝とはどのようなものであるか。真の礼拝者とは何か。イエスが「礼拝」について言及しておられる今日の聖書箇所から考えてみよう。

アウトライン

1. ヨハネ4章の文脈の確認
 - ①イエスとサマリヤの女の出会い
 - ②会話の進展に伴い変化する女の意識
 - ③「生ける水」の提示
 - ④女の現実
 - ⑤話の方向転換
 - ⑥礼拝論議
2. サマリヤの女が問題にした「礼拝」
 - ①場所——サマリヤ人（ゲリジム山） ユダヤ人（エルサレム）
 - ②現代の私たちも問題にしがちなこと
3. イエスが教えてくださった「礼拝」
 - ①場所や形式を問題にしない
 - ②自分の現実の姿を知る（救いについて）
 - ③真の礼拝者たちがささげる礼拝
4. 聖書全体が教えている「礼拝」
 - ①「礼拝」とは何を意味するか
 - ②神に対する正しい態度（詩篇8：3～4、51：16～17）
 - ③礼拝の目的
 - ④礼拝のあり方（ローマ12：1）
 - ⑤真の礼拝を妨げるもの
5. 結論、適用
 - ①私たち自身の心を探る
 - ②真の礼拝者として